

iNat 公募サイト掲載 Q&A

Q1. 支援日数はどのように決まりますか？

A1. 申請内容を基に INPIT が決定します。

その際、希望する支援内容に対して適切な支援日数となるように考慮するため、必ずしも、申請書に記載された支援日数がそのまま採用されるわけではありません。

Q2. 派遣する知財戦略プロデューサーはどのように決まりますか？

A2. 希望する支援内容や技術分野等を考慮して INPIT が決定します。

可能な範囲で近い支援経験や専門を有する知財戦略プロデューサーを検討しますが、完全に合致しない場合もありますのでご了承ください。

Q3. 同じ研究開発機関等やファンディングエージェンシーから複数の申請は可能ですか？

A3. 同じ研究開発機関等やファンディングエージェンシーから、研究開発プロジェクト毎に申請頂くことが可能です。研究開発機関等やファンディングエージェンシーとしての上限はありません。

Q4. 知的財産関連の活動費に関する要件は何ですか？

A4. 活動費は、知財戦略を策定及び実行できる程度に確保されている、または確保される見込みが十分にあることが必要です。

iNat が実行可能な知的財産関連の活動費（例.調査費用、出願費用等）が予算計上されているのか、又は確保される見込みがあるのかを含めて、必ず具体的な数字を上げて、申請書に記載して下さい。

Q5. スキーム1：研究機関派遣型の申請要件には、「② FA 派遣型で支援中ではないこと」、スキーム2：FA 派遣型の申請要件には、「研究機関派遣型で支援中ではないこと」とされておりますが、申請前に研究開発機関等と FA との間での調整が必要でしょうか？

A5. iNat 事務局にて確認を行うため、申請前に研究開発機関等と FA との間での調整は不要です。申請されたプロジェクトについて、スキーム1、スキーム2での重複が認められた場合、別途調整をお願いすることとなります。なお、本回答は、申請前における研究開発機関等と FA との間での調整を妨げる意図はありませんので、申請者において必要と認められる場合は、申請前の調整をしていただいても構いません。

Q6. 例えば、全体が10年間であり、前半の5年を第1期、後半の5年を第2期とするプロジェクトについて、第2期のタイミングで応募する場合、派遣申請書には、第1

期、第2期のいずれの情報を記載すれば良いでしょうか？

A6. 派遣申請書には、最新の情報をご記入いただくこととなるため、第2期の情報をご記入ください。なお、派遣申請書の「II. 研究開発プロジェクト（国プロ）に関する情報」の「研究期間（西暦）」及び「予算」の「総額」等のプロジェクト全体についてご記入いただく必要がある部分は、第1期、第2期を合わせた全体のものをご記入ください。

Q7. 知財PDとして、どのような方が派遣されるのでしょうか？

A7. 知的財産マネジメントに関する知識・スキル及び大学、研究機関又は企業における経験を有している者が派遣されることとなります。なお、ご参考までに、以下のリンクにおいて、知財PDの主な経歴、支援実績、得意な技術分野、資格等を公表しております。

[知財PD一覧](#)

Q8. 参画機関が全国各地に点在する場合、必要に応じて知財PDに出張していただくことは可能でしょうか？

A8. 可能です。なお、知財PDの出張の際に要する旅費は、iNatでの負担となります。

Q9. 過去の申請件数と採択件数の状況はどのようになっていますか？

A9. 過去の申請数と採択数は以下のとおりとなっております。なお、過去の申請件数と採択件数は、本公募の申請件数、採択件数の規模を示すものではない点について、ご注意ください。

令和8年（第一回）公募に対しては、以下の状況となっております。

- ・スキーム①：新規申請13件、継続希望18件に対して27件採択
- ・スキーム②：新規申請2件、継続希望5件に対して7件採択

令和7年（第二回）公募に対しては、以下の状況となっております。

- ・スキーム①：新規申請9件、継続希望6件に対して11件採択
- ・スキーム②：新規申請0件、継続希望3件に対して3件採択

令和7年（第一回）公募に対しては、以下の状況となっております。

- ・スキーム①：新規申請17件、継続希望5件に対して21件採択
- ・スキーム②：新規申請1件、継続希望4件に対して5件採択